

I S O 18436-2 準拠
機械状態監視診断技術者（振動）

**訓練機関の申請書類
記入要領書**

一般社団法人日本機械学会
イノベーションセンター 技術者資格事業委員会
機械状態監視資格認証専門委員会
振動訓練機関認定小委員会

ISO18436-2 準拠 機械状態監視診断技術者(振動) 訓練機関更新申請書

一般社団法人日本機械学会
機械状態監視資格認証専門委員会 御中

対象カテゴリ No. : 、 、 (該当するカテゴリ No を記述)

2011 年 月 日

ふりがな
会社(団体)名: _____ 印

役職 ふりがな
代表者名: _____ 印

所在地: 〒 _____

連絡先:

住所: 〒 _____

所属: _____

役職: _____

ふりがな
氏名: _____

TEL: _____ FAX: _____

E-Mail: _____

本認定に際して、ISO 18436-1, ISO18436-2, ISO18436-3 に基づいて契約することに異存がないことを確認したうえで申請書を提出します。

目次

1. 訓練機関 (Training body) の実施体制および管理体制
2. 使用する訓練教材
3. 教官
4. カリキュラム
5. 修了試験の実施方法
6. 修了証明書の体裁
7. ファイル保管体制
8. 訓練センター (Training center) の概要
9. 技術委員会 (Technical committee) の概要

***表紙および本ページを含めて、以下のページの斜体文字は、記入例、注釈です。**

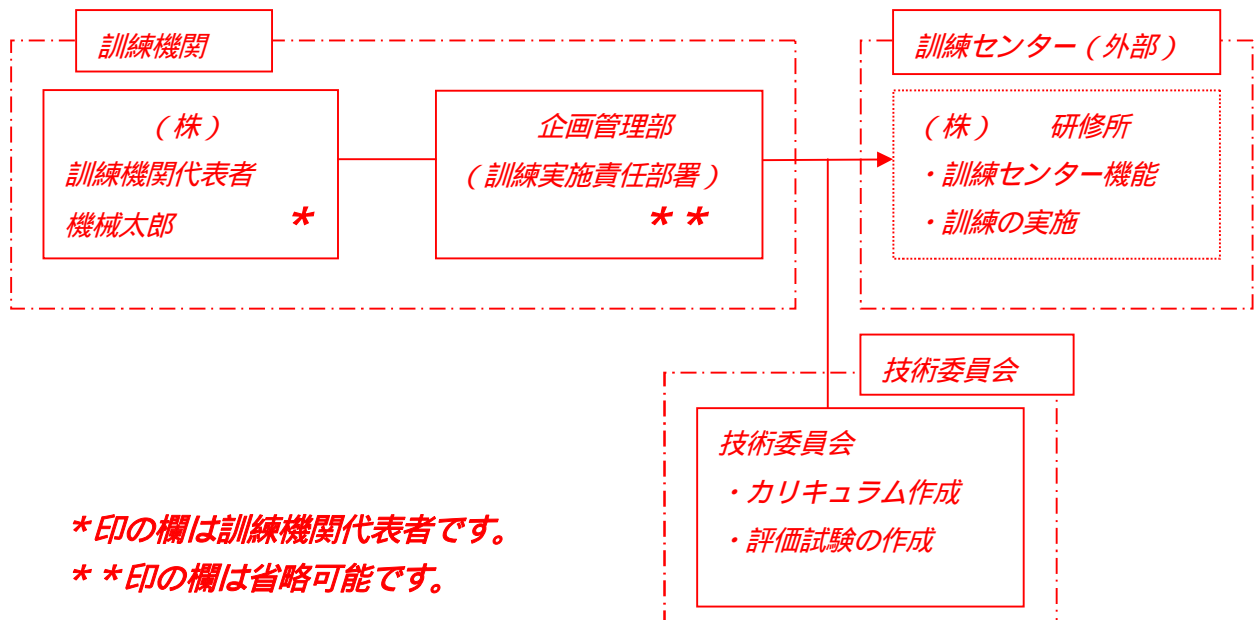
訓練機関 (Training body)

1. 訓練機関 (Training body)の実施体制および管理体制

1-1 実施体制

- ・ 訓練を実施する体制・業務内容を記述して下さい。
- ・ 訓練機関の他、訓練センター、技術委員会も含めて記述して下さい。
- ・ 外部機関を使う場合は明確に分けて記述下さい。
- ・ 会社 (団体) 概要を添付して下さい。

[例]



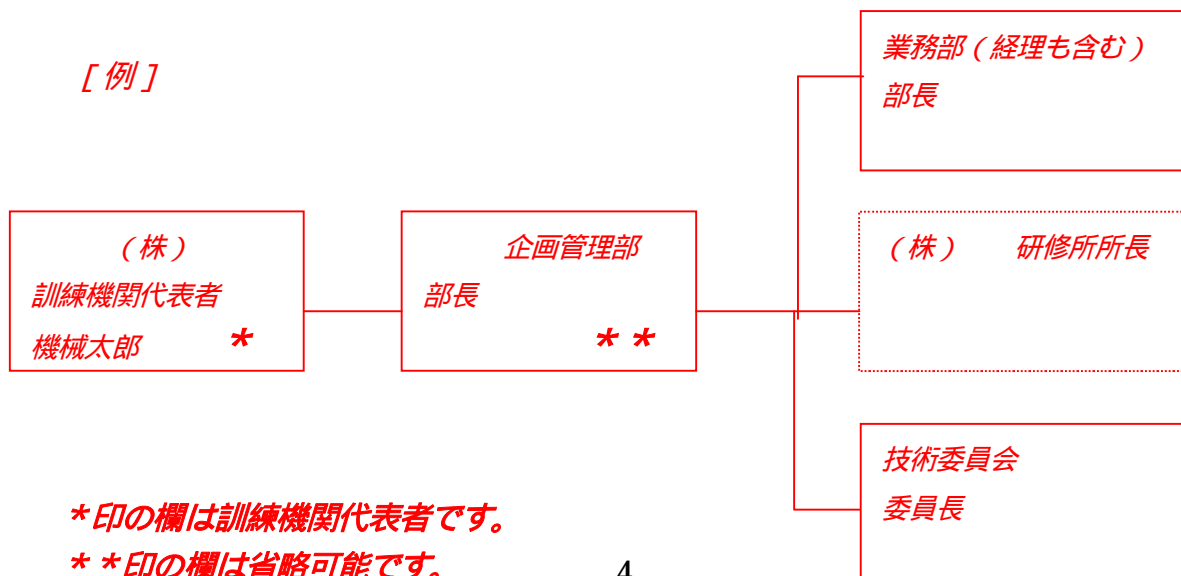
1-2 実施責任者

- ・ 会社 (団体) 名、氏名、役職、連絡先を記述して下さい。

1-3 管理体制 (経理管理、業務管理を含む)

- ・ 経理管理、業務管理を含めて、管理体制を記述して下さい。

[例]



2. 使用する訓練教材

- ・テキスト：テキスト名、発行者、出版社、発行年月日
- (・訓練センターに貸与するデモ機器があれば記入：名称、仕様、個数、使用目的)
- (・訓練センターに貸与する実習設備があれば記入：名称、仕様、個数、使用目的)

*必要に応じてテキスト、機器、設備の写真を添付のこと。

3. 教官

- ・氏名、役職、義務範囲など下記項目を記述して下さい。

氏名			
住所・電話・FAX・E-Mail			
所属会社(団体)名および職位			
学歴および専門資格	年 月 大学工学部機械工学科卒業 技術士(機械)	年 月 大学工学部機械工学科卒業 大学教授	
経験と訓練歴	年～年 設備診断実務に従事 年～年 設備診断の社内研修の講師に従事	年～年 設備診断の教育に従事	
責任および義務範囲	・信号処理 ・機器の知識	・振動の基礎 ・データ収集	
担当カテゴリー	カテゴリー	カテゴリー	
最新更新日	年 月 日	年 月 日	

(詳細は添付資料1-2の教官申請書、経歴書、チェックリストに記入下さい)

4. カリキュラム

・カテゴリの時間を満たすカリキュラムを記述して下さい。

[例]

<カテゴリ (32時間)>

日程	9:00~12:00	13:00~18:00	教官名	訓練時間
第1日目	[振動の基礎(1)] ・基本動作 ・周期、周波数 ・振幅 ・変位、速度、加速度 ・単位	[振動の基礎(1)] ・時間領域と周波数領域 ・単位 ・固有振動数、共振、危険速度 (簡易テスト)	振動太郎 振動次郎	7.5時間
第2日目	[振動測定法(1)] ・計測法 ・変換器 ・センサー取付	[振動測定法(2)] ・実験計画 ・データ取出・保管 ・データ選択 (簡易テスト)		7.5時間
第3日目	[信号処理] ・FFT使用方法 ・実習	[状態監視] ・故障の判断 (レポート作成)		7.5時間
第4日目	[診断法] ・故障の判断 ・実習	[機器の知識] ・モータ、ポンプ、ファン、圧縮機、圧延機、製紙機械、工作機械、構造物、配管、歯車 ・デモ (簡易テスト)		7.5時間
第5日目	[受け入れ試験] ・試験の手順	(修了試験)		2時間
第6日目	<認証試験>			

5. 修了試験の実施方法

・技術委員会で開発した修了試験を実施する、方法(問題数、選択式/記述式/実習など)、時間、評価方法、修了条件(満点の 点以上など)を記述して下さい。

6. 修了証明書の体裁

- ・ISO18436-3の9.2項に記述している下記項目を全て含むこと。
訓練修了者の氏名、修了日、学習時間、訓練カテゴリ、適用できる状態監視技術（機械の振動状態監視と診断）訓練機関名、修了者の固有識別番号、訓練機関の代表者の署名、訓練機関の印章

7. ファイル保管体制

7-1 訓練作業の記録保管体制

- ・最低10年は保管できる体制を整えて下さい。
- ・紙ファイル形式、電子ファイル形式など形式、書類番号案などを記述して下さい。
- ・保管場所と保管責任者を記述して下さい。

7-2 訓練評価書類の記録保管体制

- ・最低10年は保管できる体制を整えて下さい。
- ・紙ファイル形式、電子ファイル形式など形式、書類番号案などを記述して下さい。
- ・保管場所と保管責任者を記述して下さい。

7-3 修了試験の記録保管体制

- ・最低10年は保管できる体制を整えて下さい。
- ・紙ファイル形式、電子ファイル形式など形式、書類番号案などを記述して下さい。
- ・保管場所と保管責任者を記述して下さい。

7-4 個人情報の記録保管体制

- ・最低10年は保管できる体制を整えて下さい。
- ・紙ファイル形式、電子ファイル形式など形式、書類番号案などを記述して下さい。
- ・保管場所と保管責任者を記述して下さい。

訓練センター (Training center)

8. 訓練センター (Training center) の概要

- ・ 訓練機関から委任された訓練センターについて、以下に記述して下さい。

8-1 会社 (団体) 名 (訓練機関と同じ場合は、訓練機関と同一と記述して下さい)

- ・ 会社名、代表者名、所在地、連絡先を記述して下さい。

8-2 責任者

- ・ 所属会社 (団体) 氏名、役職、連絡先を記述して下さい。

8-3 スタッフ

- ・ ISO18436-3 の 5.1 項に基づき、下記項目を記述して下さい。

氏名			
住所			
所属会社 (団体) 名および職位			
学歴および専門資格			
経験と訓練歴			
責任および義務範囲			
能力評価			
最新更新日			

8-4 教材

- ・ 訓練機関から貸与されたテキスト：テキスト名、発行者、出版社、発行年月日
- ・ デモ機器：名称、仕様、個数、使用目的 (訓練機関から貸与された機器も含む)
- ・ 実習設備：名称、仕様、個数、使用目的 (訓練機関から貸与された機器も含む)

* 必要に応じて機器、設備の写真を添付のこと。

8-5 訓練会場および受講者最大人数

- ・ 訓練する会場の仕様 (広さなど) を記述して下さい。
- ・ 設備の個数など考慮して、受け入れることの出来る受講者の定員数を記述して下さい。

* 必要に応じて会社 (団体) 概要を添付して下さい。

9. 技術委員会 (Technical committee) の概要

- ・ 訓練機関によって組織された技術委員会について、以下に記述して下さい。
- ・ 技術委員会は必要な訓練レベルを有する委員から構成され、委員の所属は会社 (団体) 内外の如何を問いません。

9-1 責任者

- ・ 氏名、経験、責任範囲など下記項目を記述して下さい。

氏名	
住所・電話・FAX E-Mail	
所属会社 (団体) 名および職位	
学歴および専門資格	
経験と訓練歴	
責任および義務範囲	
最新更新日	

9-2 委員

- ・ 氏名、経験、責任範囲など下記項目を記述して下さい。

氏名			
住所・電話・FAX E-Mail			
所属会社 (団体) 名および職位			
学歴および専門資格			
経験と訓練歴			
責任および義務範囲			
最新更新日			

9-3 カリキュラム、訓練方法の開発体制

- ・ 標記の開発体制を記述して下さい。

9-4 訓練受講者の上達評価試験の開発体制

- ・ 訓練期間中に行う簡単な試験および修了試験の開発体制を記述して下さい。

9-5 添付資料 1 - 4 ISO18436-2 の表 A.1 および表 A.2 に示している技術領域を保持していく方法

- ・ 更新方法、更新頻度、更新時期などを記述して下さい。